

国会通信

茨城選出の議員

北朝鮮との関係改善 拉致問題解決に必要

国民・藤田氏

国民民主党の藤田幸久氏(参院茨城)は12日、参院外交防衛委員会で質問に立ち、同日の米朝首脳会談で北東アジアの安全保障環境が変わる可能性に触れながら、「拉致問題の解決には北朝鮮との関係改善が必要だ」と強調した。

藤田氏は、米国や韓国、中国など北朝鮮の周辺国が相次いで首脳会談を開くなどして関係改善を図る中、日本のみ首脳会談を含めた関係改善の見通しが立って

いない現状に危機感を示した。現在の日本政府の外交姿勢を批判し、「ほかの国の要素で日本が(関係改善)できる状況が整いつつあるので生かしてほしい。現状では意欲が見られない」と主体的な外交を求めた。

河野太郎外相は指摘に反論した上で、「日本政府は、日朝平壤宣言に基づき、拉致・核・ミサイル問題を包

括的に解決し、国交正常化しようというのが基本的立場だ」と答えた。